

2023 年度 JICA 北海道(帯広) 研修員学校訪問募集要項

主 催 独立行政法人 国際協力機構 北海道センター(帯広)

実施団体:十勝インターナショナル協会

後 援 北海道教育委員会十勝教育局(予定)

1. 目 的

- 1) 学校現場における「国際理解教育」を支援するため、地域の児童・生徒と、開発途上国から来帯している JICA 研修員が直接交流する機会を提供し、開発途上国や異文化・多文化に関する児童・生徒の興味・関心を引き出し、国際理解から国際協力への基礎を築くことを目的としています。
※語学習得(特に英語)をねらいとするものではありません。
- 2) JICA 研修員が児童・生徒との交流を通して、日本文化・日本人とのコミュニケーションを実体験し、日本について理解を深める機会を提供します。
- 3) JICA 事業及び JICA 北海道センター(帯広)について、地域の児童・生徒に理解を深めてもらうことも期待しています。

2. JICA 研修員とは？

JICA の実施する技術協力の一環として、開発途上国からの要請に基づき、日本で専門的な技術を学ぶために来帯している途上国の行政官や技術者等です。アジア・アフリカ・中南米・大洋州等さまざまな地域や国が含まれます。年間約1万人以上に及ぶ研修員が来日し、JICA 北海道(帯広)でも毎年 400 人以上の研修員を受け入れています(※新型コロナウイルス感染拡大前の受入実績)

3. 内 容

JICA 研修員が研修コース単位で学校を訪問し、学校側が企画したプログラム(遊び、学習発表、調理実習、研修員による国紹介等)に基づき児童・生徒と交流します。当日は、基本的に本事業の委託先(十勝インターナショナル協会)の職員が同行する予定です。

※同行職員は、研修員の引率や緊急時のサポートを目的としています。プログラムの司会・進行及び、通訳は行いません。

4. 交流プログラム

- 1) 受け入れる学校が主体的に企画し、本事業の委託先(十勝インターナショナル協会)と調整しながら組み立てます。※当日の進行は学校側でご対応ください。
- 2) JICA 研修員は講師ではありません。 **※本事業は出前講座ではないことを予めご了承ください。**
プログラムの作成につきましては、JICA 研修員が国紹介を行うのみにとどまらず、児童・生徒も日本の遊びや学校行事を紹介するなど **体験型を重視したプログラム構成をお願いいたします。**
- 3) アイスブレイクや体験型プログラムの具体的な事例につきましては、JICA 北海道(帯広)ホームページで公開しておりますのでご参考ください。 <https://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/haken.html>
【JICA 北海道(帯広)ホーム⇒事業の紹介⇒開発教育/国際理解教育⇒JICA 研修員の学校訪問】

5. 研修員の言語

JICA 研修員の多くは基本的な英語会話能力を持ちあわせていますが、英語が母国語ではありません。当日の通訳及び学校が作成する資料の翻訳等は原則学校側で対応していただきます。児童・生徒が2つ以上のグループに分かれて交流する場合など、対応が難しい場合はご相談ください。

また、一部のグループはロシア語等、現地語しか解さない場合がありますが、その場合は専門語学の研修監理員(通訳)が同行します。



6. 事前・事後学習

- 1) 交流の前には JICA が提供している以下の映像教材のいずれかをご覧ください、JICA 事業に関する予備知識を得て頂くようお願いいたします。※映像学習は必須となります。
 - FIND THE LINK「世界は、キミにつながっている。」
<https://www.youtube.com/watch?v=Gv5WhX3fYLY>
日本と途上国が互いに大きく依存している現状をアニメーションと実写映像で解説。
私たちの日常生活に不可欠な食料や衣服やエネルギー資源の多くを途上国に依存している実態を通じて、途上国と私たちの生活が深く関連していることを解き明かしていくアニメ動画です(14分21秒)。
 - 授業で使える10分映像集(アクティブラーニング教材)「国際協力・SDGs」
<https://www.jica.go.jp/hiroba/program/practice/education/video/index.html>
授業でそのまま活用できる、中高生を対象にしたアクティブラーニング用の映像教材です。
授業実践や学びの参考になる、学習指導案やワークシート、授業実践報告も掲載しています。
- 2) 事前に来れる限り研修員の出身国や異文化・多文化理解に関する学習をしていただき、交流プログラムが効果的に実施されるように企画してください。児童・生徒が異文化理解や開発途上国へ関心を持つきっかけとなるよう、事前・事後学習を含めた総合的なプログラムの中に位置づけていただくことを推奨しております。
- 3) 事前・事後学習の取り組みとして、元青年海外協力隊員が途上国の現状や活動内容を紹介する「JICA 国際協力出前講座」、JICA 北海道(帯広)内を見学する「センター訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。詳細につきましては、添付資料、及び JICA 北海道(帯広)ホームページをご覧ください。
<https://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/index.html>

7. 訪問先範囲

十勝管内の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等です。

8. 訪問日と訪問時間

- 1) 「申込用紙 B 2023 年度 JICA 研修員学校訪問予定日程表」に記載されている10コースへの申込が可能です。なお、来日スケジュール・研修予定等の変更で、訪問予定日についても変更または中止となる場合がありますのでご了承ください。
- 2) 研修コースによって、終日訪問が可能な場合や、午前中、午後のみ訪問など様々です。

9. 訪問人数・JICA 研修員による国紹介資料等の準備

- 1) 研修員の訪問人数は1校に対して5~12名程度を予定していますが、最終的な訪問人数、出身国については突然の来日中止等により変更になる場合がありますのでご了承ください。
- 2) 研修員に出身国の概要や遊びを紹介してもらうことができますが、研修スケジュールの都合等で用意できないコースもあります。その場合は研修員がその場で参加できる内容を学校側で用意いただきますのでご了承ください。

(※申込用紙 B 2023 年度 JICA 研修員学校訪問予定日程表をご参照ください)

10. 経 費

- 1) JICA に対して謝金は一切発生しません。また、原則 JICA 研修員及び同行者の交通費をご負担いただく必要はありません。
- 2) 給食交流を行った場合の給食費につきましては、学校負担でお願いします。
- 3) 交流に必要な消耗品や機材等については、学校側で用意ください。
- 4) 学校側で通訳ボランティアを手配した場合の経費(交通費・給食費等)については、学校側でのご負担をお願いします。

11. 学校訪問応募から当日までの流れ

学校訪問に関する事務手続き・お問合せ等につきましては、本事業の委託先が担当します。事前の調整・当日の日程・プログラム作成・事前打合せ等につきましては、本事業の委託先から連絡させていただきます。なお、詳細につきましては訪問校に対して実施予定の「合同事前説明会」で説明させていただきます。

| | | |
|-----|-----------------------|---|
| 1) | 募集 | <p>4月26日(水)必着 JICA 北海道(帯広)のホームページ等で公募します。 (http://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/index.html) また、十勝総合振興局内の小・中学校(各市町村教育委員会より配布)、高校・特別支援学校などに募集要項を直送します。</p> |
| 2) | 申込 | <p>申込用紙 A、B、C に必要事項をご記入の上、担当者まで郵送またはFAX、Eメールで送付してください。 ※申込用紙の記載内容についてご不明な点は、十勝インターナショナル協会の担当(加藤)までお問い合わせ下さい。(「JICA 研修員学校訪問に関する問合せ」参照)</p> |
| 3) | 訪問校の決定 | <p>4月下旬～5月上旬 応募書類をもとに訪問先の学校を決定させていただきます。 結果通知は5月12日(金)を予定しています。</p> |
| 4) | 事前説明会 (※任意参加) | <p>5月中旬 学校訪問実施が決定した学校の担当者を対象に、JICA 北海道(帯広)にて合同事前説明会を実施します。参加は必須ではありませんが、学校訪問当日に交流プログラムを担当する方向けに、過去の事例等をご紹介します。</p> |
| 5) | 企画書の提出 | <p>実施日の約1か月前～1か月前 学校担当者より日程案・計画を Eメールで提出していただきます。提出日については、研修コースのスケジュールによって前後しますので、事前にお知らせいたします。 企画書は JICA 北海道(帯広)のホームページでもダウンロード可能です。 (https://www.jica.go.jp/obihiro/enterprise/kaihatsu/index.html) なお、前述のとおり、研修コースのスケジュールによっては、研修員による事前準備ができないコースもありますのでご注意ください。 ※上記リンクには、過去の実施例も掲載していますので、企画書作成の参考にご覧ください。</p> |
| 6) | 事前打合せ | <p>プログラム内容の調整や当日の確認を行います。担当職員と対面式の打ち合わせをご希望される場合は JICA 北海道(帯広)で行いますが、遠方の学校や、日程調整が難しい場合は、電話とメールでの対応も可能です。</p> |
| 7) | 事前学習 | <p>学校訪問の交流準備や調べ学習、JICA が提供する映像教材の視聴等。 JICA 国際理解教育教材の貸出(写真パネル・民族衣装等)や JICA 図書資料室の利用、「JICA 国際協力出前講座」、「JICA 北海道(帯広)センター訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。</p> |
| 8) | JICA 研修員学校訪問当日 | |
| 9) | 事後学習 | <p>振り返りや学習した内容のまとめ等。JICA 国際理解教育教材の貸出(写真パネル・民族衣装等)や JICA 図書資料室の利用、「JICA 国際協力出前講座」、「JICA 北海道(帯広)センター訪問」を併せてご利用いただくことを推奨いたします。</p> |
| 10) | 報告書の提出 | <p>「JICA 研修員学校訪問報告書」(1か月以内)の提出</p> |

12. 訪問校の決定方法

申込多数の場合、提出書類を審査し、訪問校を決定します。
 より多くの学校に JICA 研修員との交流の機会を提供するため、受入実績のない学校を優先する場合があります。

13. 応募受付期間: 2023年3月下旬~2023年4月26日(水)・必着

14. 申込用紙 A(両面)、B、C の送付先

下記申込先まで何れかの方法でお申込ください。

【郵送】

〒080-2470

帯広市西 20 条南 6 丁目 1 番地2 森の交流館・十勝内
十勝インターナショナル協会 加藤 かおり

【FAX】

0155-41-4100

【E-mail】

tia1996@t-i-a.jp

15. 訪問先決定連絡予定日: 2023年5月12日(金) ※全ての応募校に結果を郵送します。

16. 事前説明会: 2023年5月中旬予定 ※選考された学校のご担当者様に別途ご案内します。

17. その他

JICA 北海道では、「開発教育」・「国際理解教育」に携わる、または関心を持つ先生方を対象に、国際協力に関する知識及び技術の向上を図ると同時に、途上国に関する関心・理解を深めることを目的として、国際理解教育指導者研修を実施しております。研修員学校訪問を機に、是非国際理解教育指導者研修への参加もご検討ください(参加募集時期は 2023 年 7 月を予定しています)。詳しくは JICA 北海道ホームページ又は JICA 担当者へご確認ください。)

JICA 研修員学校訪問に関する問合せ

十勝インターナショナル協会: (担当者直通)加藤かおり

TEL: 0155-41-4100 FAX: 0155-41-4100

(電話による問い合わせの受付時間 13:00~18:30 (土・日・月・祝祭日休))

E-mail: tia1996@t-i-a.jp

JICA 事業及び、国際理解教育事業全般に関する問合せ

JICA 北海道センター(帯広): 野々垣 真実

〒080-2470 北海道帯広市西 20 条南 6 丁目 1-2

TEL: 0155-35-1210 FAX: 0155-35-1250

E-mail: obihiro_event@jica.go.jp